

# 研究通信

第 9 2

1974年7月刊  
村落社会学研究会  
事務

中央大学  
文学部社会学研究室

## 本年度大会の開催地について

すでに会員各位の御承知のとおり、今年度の村研大会は東北でおひき受けすることになりました。これまで東北では鳴子の「農民の家」から天童温泉まで多少とも個性的な(?)開催地を得てきたように思いましたが、今年のごく平凡なところに落着きました。それでも、蔵王山麓の紅葉を楽しんでいたきながらの討論もわるくはないはずと愚考いたしております。とりあえず、開催地についてお知らせ申しあげ、いづれ次の研究通信で詳細を連絡させていただくことになりました。

一、と き 昭和四九年一〇月二(土)、一三(日)日の両日

一、と ころ 宮城県刈田郡蔵王町速刈田温泉「蔵王ハイッ」(雇

傭促進事業団保養所)

一、テーマ 「日本資本主義と家」

一、会場への交通 東北線白石駅で下車して現地までバスで四五分。仙台駅からはやはりバスで二時間です。

一、宿泊費 バスつき希望の方は一泊二食つきで三、五〇〇円前後。

後。アウトバスで一泊二食で三、〇〇〇円前後です。「前後」とあいまいな書き方をしたのは一室に何人同宿するかで値段が違って来るからです。ほかに、昼食費三〇〇円、懇親会費一、〇〇〇円をいただくことになりました。

およそ以上です。参加お申し込みは、いずれもっとくわしい地図や交通の便をおしらせしたりえて、お受けすることにしたと思います。とりあえず簡単なお知らせまで。